

1. 農家をサポート

新規就農者への支援

◆就農支援窓口を設置

各営農センターでは個別に就農相談を行っています。主要品目のキャベツ、タマネギでは、大府・常滑南部・南知多の各営農センターに就農支援窓口を設置し、独立就農に向けた支援を行っています。

◆JAバンク関連施策を利用した担い手支援

行政との連携により、新規就農者の状況を把握し、JAバンクの各種施策の活用による支援を実施しています。本年度は9月から受け付けを行っています。



知多半島内の新規就農者数

平成27年度	平成28年度	平成29年度
22人	28人	30人

中核的担い手農家に手厚い対応

◆農業チャレンジサポート事業の活用

組合員の意見を反映して創設した「農業チャレンジサポート事業」は、生産規模拡大や高品質化、省力化に積極的にチャレンジする農家をサポートする事業で平成30年度、総額1億5,000万円を予算化し、たくさんの農家の方に利用していただいています。



農業チャレンジサポート事業の実績（平成30年4月から1月末までの期間）

サポート1 土作り支援	土壌診断	1,313点
サポート2 生産支援	果樹苗木・野菜苗の購入	78件
	農業用機械等の購入	184件
サポート3 機械・設備導入支援	農業用ハウス等の購入	42件
	高品質栽培用資材の購入	4件
サポート4 災害復旧支援	台風被害等の復旧	221件
サポート5 地域営農振興支援	生産部会等の生産振興への支援	13件
サポート2から5の合計件数		542件

◆本・支店長と営農センター長による訪問面談活動

生産者個々の農業経営の状況やJAに対するご意見やご要望をお聞きするため、中核的担い手農家に対し、本・支店長と営農センター長が訪問・面談活動をしています。

中核的担い手農家訪問・面談件数

平成29年度（1回目）	815先
平成29年度（2回目）	810先
平成30年度（1回目）	812先
平成30年度（2回目）	平成31年2月から3月に実施予定



◆農家訪問活動の強化と金融部門と連携した金融商品の提案

営農アドバイザーは、担当する農家に対し、定期的な訪問を行っています。12月からは、農家にタイムリーな情報や営農指導が迅速にできるようタブレット端末を導入しました。また、金融部門と連携して農家の資金ニーズを的確に把握し、金融商品の提供に努め、平成30年12月末までの実績では、農業融資取扱件数が58件、農業融資新規取扱額が3億5,800万円となりました。



自己改革の取り組みと成果

農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化に向けて

JAあいち知多は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向け、自己改革に取り組んでいます。

総合事業を展開することで、「持続可能な地域農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現を目指し、組合員および地域社会から必要とされるJAとなるために、さまざまな活動を展開しています。

